



せせらぎ三島

ロータリークラブ
Seseragi-Mishima Rotary Club

SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2015～2016年度 RI会長 K. R. ラビンドラン
RIテーマ 世界へのプレゼントになろう

クラブテーマ「明るく楽しいロータリー」会長 鈴木政則

副会長 中山和雄 幹事 石井邦夫

第1270回 例会 2016.3.27(日)晴

司会:山口辰哉君 指揮:岡 良森君
ロータリーソング「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 鈴木政則君

皆さん今日は、春の家族会です。会員・御家族の皆様方に参加をして頂き誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。今日の春の家族の企画・設営を担当して頂きました杉山親睦委員長を始め親睦委員の皆様には心から感謝とお礼を申し上げたいと思います。我々ロータリーアンが常日頃、奉仕の精神の基で活動できるのも、奥様をはじめ家族のご協力とご支援を頂いている結果であり、ロータリーアンとして感謝をしています。そういう意味合いを含めました春の家族会です。本日は天気も良く、素晴らしい日になりました。二つの世界遺産、富士山と韮山反射炉を見学して、ミス高原でバーベキュー大会が開かれ、会員相互の親睦を図る事ができました。今日一日楽しい思い出ができました。韮山反射炉について、幕末期の代官江川英龍が手がけ、後を継いだその子英敏が完成させました。反射炉とは、銑鉄「せんでつ・砂鉄や鉄鉱石から作った粗製の鉄で、不純物を多く含む」を溶かして優良な鉄

を生産するための炉です。銑鉄を溶かすためには千数百度の高温が必要ですが、反射炉の場合、溶解室の天井部分が浅いドーム形となっており、そこに炎や熱を反射させ、銑鉄に集中させることでその高温を実現する構造となっています。そこから、反射炉という名称が与えられた様です。溶かした鉄は、鑄型に流し込んで大砲などに加工されました。近年の発掘調査では砲弾の鑄型などが発見されています。炉体と煙突の部分を含めた高さは15.7m、実際に稼働した反射炉が残っているのは日本でここだけです。稼働当時、反射炉の周囲には各種の作業小屋や倉庫などが建ちならび、多くの職人が働いていました。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	28/35	80.00%	34/35	97.14%
今回	20/32	62.50%	会員総数	37名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

石井(司)君、勝又君、加藤君、久保君、小島君、杉山(隆)君、鈴木(真)君、田中君、土屋君、宮澤君、山口(雅)君、山本君



春の家族会

蕪山反射炉・吊るし雛体験・地ビール試飲・ミス高原BBQ

